

祖父から送られてきた野菜

JAごとう青年部 部長 本村元さん

通常総代会のご案内

我慢のしどころ 5月期牛せり

2連覇を目指す ほめられかぼちゃ

天候に翻弄され収穫 大麦



ごとう

2023

6

JUNE
JAごとう
No.208

青年部の食育活動として三井楽小学校で行われた芋植え。
懸命に鍬を振るう児童に青年部員が優しく教えていました。



祖父から送られてきた野菜

—— 亡き祖父へのオマージュ ——

JA YOUTH

JAごとう青年部

部長 本村 元 さん

JAを拠り所に集まった若手農業者で組織するJA青年部は、情報交換や相互交流、イベントなどの活動を通して農業振興や地域づくりに貢献しています。その組織は全国におよび、約6万人の会員が活躍しています。

JAごとう青年部は、会員数65名、平均年齢36・6歳で、4つの支部を置いて活動しています。

JAごとう青年部の部長を務めるのは、富江町で野菜農家を営む本村元さん。

本村さんは、平成4年生まれの31歳。現在、そらまめ6^ル、きゅうり15^ル、かんしょ40^ル、スナックエンドウ10^ルを経営されています。

今回、そらまめの収穫で忙しい中、お話を伺いました。

農業を志すきっかけ

私が大学生の頃、祖父が美味しい野菜をたくさん送ってくれていました。その時、将来自分も家族や親戚に野菜を送ってやりたいと思ったのが一番です。祖父が農業をやめたら、せっかく築いてくれたものが無くなってしまいうのも嫌でした。

大学卒業後は、祖父と一緒に農業をやりたいと24歳で五島に帰って来ました。最初は

祖父の反対があつて、1年ほどJAの加工場でアルバイトをしていたのですが、私の熱意に押された祖父からようやく許しが出て「じゃあ一緒にやろう」と始める矢先に祖父が亡くなってしまいました。

専業農家で頑張っていた祖父の指導を仰いで農業をやりたい。寝たきりでもいいから生きていてくれたら、いろんな話が出来たのに……と今でも思います。

生前、牛を飼い、葉たばこを作り養蚕も営んでいた祖父から、機械も無く、手作業でやっていた昔の苦労話も聞いていました。

葉たばこを作っていた当時は、乾燥小屋の中に、たばこの葉を何段にも高く吊るして、土で作った窯で火を焚いて乾燥させていた。そのため火災も多く、祖父も2回ほど乾燥小屋を焼いたと聞きました。でも、すぐに建て直して再開できた。それほど当時の農業は儲かっていたそうです。

農業の魅力

自分が頑張った分だけ結果がついてくるところです。決まった休日もありませんが、自分の裁量で時間の融通が利きます。自己責任が重いところですが、気楽なところもある。



青年部総会

JAごとう青年部は4月28日、第40回通常総会を開き、事業報告及び事業計画を協議。組織の活性化に向けて「次世代リーダーの育成」、「青年部盟友の所得向上」「広報活動の強化」の3本柱で活動する旨決議しました。

食育活動 三井楽中学校で芋植え

食べ物を作る楽しさを学んでもらおうと、JAごとう青年部三井楽支部は5月16日、三井楽中学校の生徒35名と芋植えを行いました。校舎の裏にある畑で全員で畝を立てると準備したさつま芋の苗を一本ずつ植えていきました。



植え付けを終えた生徒からは「とても楽しかった。収穫するのが楽しみ」と喜ぶ声が聞かれました。



りますし、すべて自分が思うように出来ます。

青年部への思い

今は、コロナの影響で以前のような部員同士の交流ができていません。地元の富江支部は、私と支部長、事務局との連絡はとれていて、部員ともグループLINEを作って連絡を取り合っています。これは他の支部にもやってほしいですね。

青年部の会議もウェブで開催すれば、各支部に集まって会議に参加できます。その日の仕事を終えて、三井楽地区のような遠方から出席するのも大変なんです。

任期2年の青年部長最後の年。あと1年で何が出来たのか分かりませんが、まずは、年間行事をすべて通常開催して、部員の参加を増やし、次の役員に繋げていければいいと思っています。

今年の農業まつりでも、看

板作成や出店を計画しています。新しい事もやってみたいのですが、まずは例年通りの活動に戻したいですね。支部ごとに独自の活動もしていて、富江では、これまで地元の夏祭りに出店していましたが、これもコロナの影響で出来ていません。今年は野菜を出店したいと考えています。また、食育活動では、蕎麦打ちや芋植え、田植えなどを子供たちに体験してもらいたいと思っています。

将来の夢

もともと私は、そんなにお金欲しいと思っていない方なので、今のところ誰かに野菜を配ったり、親戚に送ってやれるといいなと…そうやって何とか暮らしていければと思っています。でも、10年先を考えると、今頑張っている高齢者の方々が農業が出来なくなる。後継者がいる農家も30代から40代。その殆どが畜

産農家さんで、野菜農家の後継者が少ないのが現状です。そこで私の夢は、農業法人を立ち上げて運営できればと。今の五島では、大型の機械を使って広い面積を扱えるのは、葉たばこ農家さんと麦農家さん、畜産農家さん。あとは法人の方で、地主さんからすると、昔からつながりのある畜産農家さんや、葉たばこ農家さんに畑を貸しているのが現状です。

叶うなら、そのような畑を基盤整備して、高齢者や若者を雇用して芋を作る。離島では加工品、カンコロでもいいです。単価の高いものが売れるといいのですが、生産量が増えれば価格が下がる…難しいところですね。

優しい声で静かに語る本村さんの言葉には、祖父が営んだ農業への憧れと、青年部に対する思いが込められています。

第22回JAごとう通常総代会のご案内

本組合の第22回通常総代会を下記の通り開催致します。

日時 令和5年6月29日(木) 午前10時～

場所 カンパーナホテル(五島市東浜町)

※当日は近隣の有料駐車場をご利用ください。(後日領収書にて精算)
カンパーナホテル周辺には駐車できませんのでご注意ください。

- 令和4年度 事業報告について
- 令和5年度 事業計画(案)について など



活発な質疑応答が行われました

地区別総代説明会

JAごとう管内の各地区の支店・出張所において、地区別総代説明会を開催しました。

6月29日に開催を予定している第22回JAごとう通常総代会に先駆けて開催された同説明会は、管内各地区の総代を招集し5月23日からスタート。初日の久賀地区・福江地区を皮切りに6月2日までの2週にわたって、上地区4地区・下地区8地区合わせて12地区において開催された同説明会は、各地区の支店・出張所を会場とし、JAごとうの役職員が巡回して執り行われました。

同説明会では、役員より第22回通常総代会の議案・報告事項についての説明をし、質疑応答が行われました。総代から寄せられる様々な質疑に役職員が応え、通常総代会に向けてどの地区も活発な質疑応答となりました。

世界的に穀物の供給が滞り、飼料価格の高止まりが続く中、経営に対し不安視する購買者の声も聞こえてきた今回のせり市。その原因となるロシア・ウクライナ紛争が早く解決することを皆が願っています。



令和5年5月期せり市成績表（子牛）

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	277頭	121,703,000円	1,024,100円	483,297円	1,801円	268kg	84.3%
去勢	337頭	196,037,000円	964,700円	639,883円	2,176円	294kg	91.2%
合計	614頭	317,740,000円	1,024,100円	569,241円	2,015円	282kg	88.4%



我慢のしどころ

前回比11.6%安 5月期せり市

令和5年5月期のせり市が5月13日と14日、五島家畜市場で開かれ、生産者184戸から665頭（子牛615頭、成牛50頭）が上場されました。二日間の子牛の平均価格は、前回比11.6%安の56万9241円となり、今年1月の57万2600円をわずかに下回りました。

前回のせりで価格が上向いた事で安堵の表情を浮かべた生産者は「例年5月と7月は価格を下げる傾向にあるので大幅に下がらないことを願っています」と話し、せりの状況を心配そうに見守りました。買い付けにきた購買者は「枝肉相場が低調なことに加え、飼料の高騰で経営も厳しくなっています。最近では、2頭売りに出して1頭買う状態です」と資金繰りにも影響が出てきているとし、更にこの状況が続くことに「ここ2年が勝負です。そのころ肥育農家の体力が残っているか心配です」と話しました。

また、「私と同世代の繁殖農家は、子牛価格が好調な頃に負債を解消し、経営を立て直すことが出来ています。しかし、最近始めた若者にとっては、現在とても厳しい状況にあります。JAと市や県が一体となって、経営診断や指導を行い、将来を担う若者を育てて頂きたいです」と後継者育成に向けて期待を寄せました。

せりを終えて、JAごとう畜産部会の川崎善一部会長は「新型コロナウイルス



子牛の計量を終えてせり会場へ向かう生産者

『ほめられかぼちゃ』のブランド確立と産地化をめざす『ほめられかぼちゃ部会』は更なる品質の向上に取り組んでいます。



各圃場を回り生育状況を確認しあう現地検討会

『ほめられ率』 2連覇を目指す

ほめられかぼちゃ部会

消費者のニーズに応え産地化をめざす『ほめられかぼちゃ』は、出荷契約先のMVM商事(株)(本社兵庫県神戸市)が水分含有量・糖度などを光センサーで数値管理し、一定の基準を満たしたものに『ほめられかぼちゃ』の称号が与えられるもので、JAG(ごとうのかぼちゃ)の昨年『ほめられ率』で全国一位を獲得しています。

JAG(ごとうのかぼちゃ)部会(大谷豊部会長)では、今年20名の生産者が10畝を栽培しており、昨年と比べると生産者が4名増え、面積も2倍になっています。

部会は、更なる品質の向上を目指し、昨年末から本年産に向けた生産計画を策定。定植後も関係機関を交え、基準を満たすための栽培講習会や現地検討会を重ねてきました。5月24日にも現地検討会を開き、各部会員の圃場を巡回して生育状況を確認。栽培技術や病害虫対策など情報の共有を図りました。

翌日には、本山支店で目揃い会を開催。出荷規格の確認と収穫開始時期の検討を行いました。

目揃い会には、生産者、JA担当者のほかに、MVM商事をはじめ、中堅・中小スーパーマーケットに営業支援を行う(株)CGCジャパンや、

トキタ種苗(株)、JA全農及び五島振興局から参加。

傷や日焼け等の影響が出たかぼちゃのサンプルを前に、選果基準に応じた出荷の可否を参加者全員で確認しました。

MVM商事の安藤常務は「今年で3年目の大事な年。我が社で扱うかぼちゃの内、6月は輸入が7割、国産が3割となっていますが、来年は国産の割合を増やす計画です。JAG(ごとうのかぼちゃ)の出荷計画も200トから来年は300トを目指してもらいたい」と激励。五島産かぼちゃへの期待を寄せました。

大谷部会長は「今年は、悪天候で2番果の着果が少し遅れましたが、1番果は順調に生育しています。昨年より品質は良い」と語り、全国の『ほめられ率』2連覇へ向けて意欲を見せました。



サンプルのかぼちゃを前に選果基準を確認



翌日の雨の予報に急ピッチで刈取りが行われました(富江町)

天候に翻弄され収穫

長雨による品質低下懸念

大麦



搬入された麦の乾燥・調整が進む富江ライスセンター

4月下旬から始まった大麦の収穫。生産者にとって、例年にならない天候不順に翻弄される収穫作業となりました。「収穫前の長雨で品質も落ちてしまった」と生産者は一同に悔やしさを口にします。受入れを行う富江のライスセンターでは、雨を前に収穫を急ぐ生産者から、刈取った麦が次々と持ち込まれ、職員らは対応に追われました。管内の大麦(はるか二条)は、56戸の生産者が、約422畝を作付け、約1200トンの収量を見込んでいます。5月9日、三井楽のライスセンターでは、約67トンの大麦の検査が行われました。検査した全農が

さき農産部の山口克哉氏は、「本来、麦は粒に丸みと張りがあって、色も黄色みを帯びているのですが、検査では若干黒っぽい退色粒(被害粒)が目立ちます。検査で使うカルトン(黒い皿)には約800粒の麦が入っているのですが、整粒(きれいに整った粒)の割合が1等で75%、2等で60%以上を要します。被害粒の混入割合も1等で5%



三井楽ライスセンターでおこなわれた大麦の検査

以下、2等で15%以下とされていますので、一皿に1等で40粒、2等で120粒までの被害粒は許容範囲になります。これを踏まえて、今回の検査の結果を見ると、整粒が63%以上あり、屑の混入も無く容積重量もクリアしていることから格付け要因としては形質(粒の形状と質)の2等になります。一方で、買い取る側は、退色粒を避ける傾向にありますので、丸みを帯びず尖った粒の充実不足にならないよう、更に地力の向上に努めていただければと思います」と話しました。

豊作願い

3万6千箱に種蒔き

普通期水稻

普通期水稻の種蒔きが5月20日、大浜の育苗施設で始まりました。今年種が蒔かれる品種は「ヒノヒカリ」、「にこまる」、「ヒヨクモチ」の三種。

施設では、朝からJAの担当職員らによって水稻用播種機で育苗箱に種が蒔かれ、次々とハウス内に並べられました。



播種機を使い種が蒔かれ、ハウス内に並べられた苗箱



大浜の育苗施設では、24日までの5日間で「ヒノヒカリ」1万9250箱、「にこまる」2750箱の種蒔きが行われました。

25日には富江の育苗施設でも始まり、28日までの4日間で「ヒノヒカリ」5900箱、「にこまる」7700箱に加え「ヒヨクモチ」650箱の種が蒔かれました。

この後、20日間ほどかけて育てられた苗は、6月10日頃から生産者へ順次配布されます。

令和5年度生産経費支援対策事業のご案内

生産資材等の価格高騰対策の一環として、当JAでも生産者のコスト削減を目的とし、昨年に引き続き土づくりに対する助成を行います。

また、主要品目の資材高騰に対する助成として、生産費(苗・種子)の一部助成を行います。

土づくりに対する助成(堆肥)

内 容… 堆肥センターからの購入堆肥及び配達料について助成します。
堆肥… 購入代金の40% 配達料… 1,000円/1台(地区によって変動)
※上限あり(200,000円まで)
対 象 者… 組合員(米、麦、大豆除く) 対象期間… 令和5年3月～令和6年2月

資材高騰に対する生産費一部助成(苗・種子)

内 容… 主要作物の種子・苗購入代について助成します。 ※米・麦・大豆除く
主要作物の苗・種子購入代金の10% ※上限あり(100,000円まで)
対 象 者… 組合員(米、麦、大豆除く) 対象期間… 令和5年3月～令和6年2月

お問合せは農産園芸部(0959-72-6214)
または最寄りの支店・出張所まで



レンタルフルセット ¥110,000～ (税込)

振袖 はかま 展示会

令和5年

8/5 (土) 6 (日)

(土) 10:00～17:00 (最終受付16:00)

(日) 10:00～16:00 (最終受付15:00)

JAごとう本店にて

1

お支払いは
成人式が済んでから

2

2回目以降は15年間
何回でも無料レンタル

(12/10～1/15は除く)

※クリーニング代1万円(税別)、
送料をご負担いただきます。

3

前撮り写真3ポーズ付

※110,000円以上ご契約の方のみ

4

当日お仕度助成金付

(ご都合の良い美容室をご予約下さい。)

5

卒業袴レンタル20%OFF

足袋・肌着 プレゼント

協賛：(株)アンヘル

福岡市中央区高砂2-11-5-2F ☎092-526-3322

直接店舗にご来店OK！SNSもご覧ください♪



【お問い合わせ】

JAごとう 経済部

☎0959-72-6585

なんでも、
ご相談ください

ただいま
職員募集中
です！



JAごとうで 働いてみませんか？

正職員、臨時、パートさん募集しています。
一般事務他、職種はいろいろございます。



JAのお仕事内容



1. 一般事務(金融・共済窓口対応・経理)
2. 直売所・レストラン業務(調理・精肉・レジ)
3. JA-SS(給油所)
4. 農機具・自動車の修理整備
5. 営農指導 などなど



「JAごとうってどんなところなの?」、「どんなお仕事があるの?」など詳しい内容をお聞きしたい方は、いつでも下記担当者までご相談ください。
私たちとご一緒に働ける方、ご応募お待ちしております!!

◆担当者◆

JAごとう本店 総務部 原 依吹(はら いぶき)
(住所:五島市龍淵町 2450-1 電話:0959-72-6211)



夏期 農機・自動車 合同展示会

上地区

日時：6月24・25日
場所：離島開発センター

下地区

日時：7月1・2日
場所：本店特設会場

皆様のご来場お待ちしております！

施設作業員募集

作業期間	作業場所
3月～11月	育苗センター
3月～10月	アスパラ選果場
12月～5月	ブロッコリー選果場
12月～3月	高菜加工施設

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

富江トマト選果場作業員募集

作業期間	9月中旬～6月中旬
作業場所	山手トマト選果場 (富江ライスセンター横)

詳細は富江支店 営農経済課までお問い合わせください。
☎0959-86-2111



青島 淨倫会館

誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時（4月～9月）
9時～18時30分（10月～3月）

※農家レストランは10時30分～14時30分（予約については別途）
※土日限定バイキング 11時～15時
料金 大人：1,200円 子ども：650円（小学生以下）
休業日：棚卸日（9/末、3/末） 年始（1/1・2・3）

編集 後記

およそ3年間にわたり猛威を振るった新型コロナウイルスが5類感染症に移行され約1ヶ月が過ぎました。様々な制限が解除になったことで、イベント事の復活や、マスクを外している方の増加など、長かった我慢の時期が明け、ようやくコロナ禍というものに終息の兆しが見えてきたのかなあと感じています。これから夏場にかけて屋外での取材が増えていきます。今年は私もマスクの日焼け痕を気にせず取材に励めそうです。

（長瀬 俊一）

JAごとう農業協同組合

●JAごとうNo.208 ●発行／ごとう農業協同組合 編集／総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●<http://www.ja-goto.or.jp> ●印刷／(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。